

光栄の森

平成25年4月 毎月1日発行 第58号

発行者 光栄プロテック 吉竹

4月を迎えるにあたって

□

代表取締役 三田雅憲

いよいよ新年度を迎えようとしております。今年は、桜も例年より早く開花しており、この社報をお配りするところには満開となっていることでしょう。

4月は新しい出会いが訪れます。当社も新入社員1名および3月に中途入社の方が2名加入され、より一層良い方向へ変化してくるのではないかと思います。期待と不安の入り混じった気持ちの中で当社の門をたたいてくれた皆さんを、しっかりと光栄ファミリーの一員として受け入れることが大切であると思ひますし、また、ともに歩んでいただきたいと思います。仕事は楽しいことより苦しいことの方が多いかもしれません。しかし、仕事を通じてしっかりと成長し、自分に関わる大切な人たちを喜ばせることが重要です。末永くがんばってください。

3月にN班長の娘さんが病気で入院され、本人はじめご家族も大変な思いをされていたのですが、先般、無事に退院され娘さんの元気な顔を見ることができ本当に安心いたしました。まだ小さいお子さんなので、お母さんはさぞ心配されたことと思ひます。

自分の子どもも同じような経験があり、昔、夜中に救急病院へ車を飛ばして行ったことを思い出しました。泣き叫ぶ子どもを前に眠たそうに対応する医者に腹をたてたこともありました。家族みんなが元気であることが当たり前だと思っていたことが、実は本当にありがたいことなのだ、このとき実感いたしました。

彼も今回そう感じられたと思ひます。この世に生かされていること自体が感謝・感謝なのだと思ひづかされるのです。えらそうなことを言いましたが、これは本当の気持ちです。仕事が普通にできるのも家族や周りの人たちの元気な姿があってこそだからです。これから、30代、40代、50代、60代と年齢を重ねるほど実感することと思ひます。

4月には東京へ出張します。ある案件の説明にお客様と一緒に伺うのですが、時間が許せば他のお客様のもとへ行き、当社のPRをしていきたいと思ひています。5月から6月にかけての大きな案件です。ぜひ、当社で仕事ができるようにしたいと思ひます。

例年、仕事の流れは4月から6月は少し控え目な月ですが、今年は4月からみんなと一緒に飛ばして進めていきたいと思ひます。

